

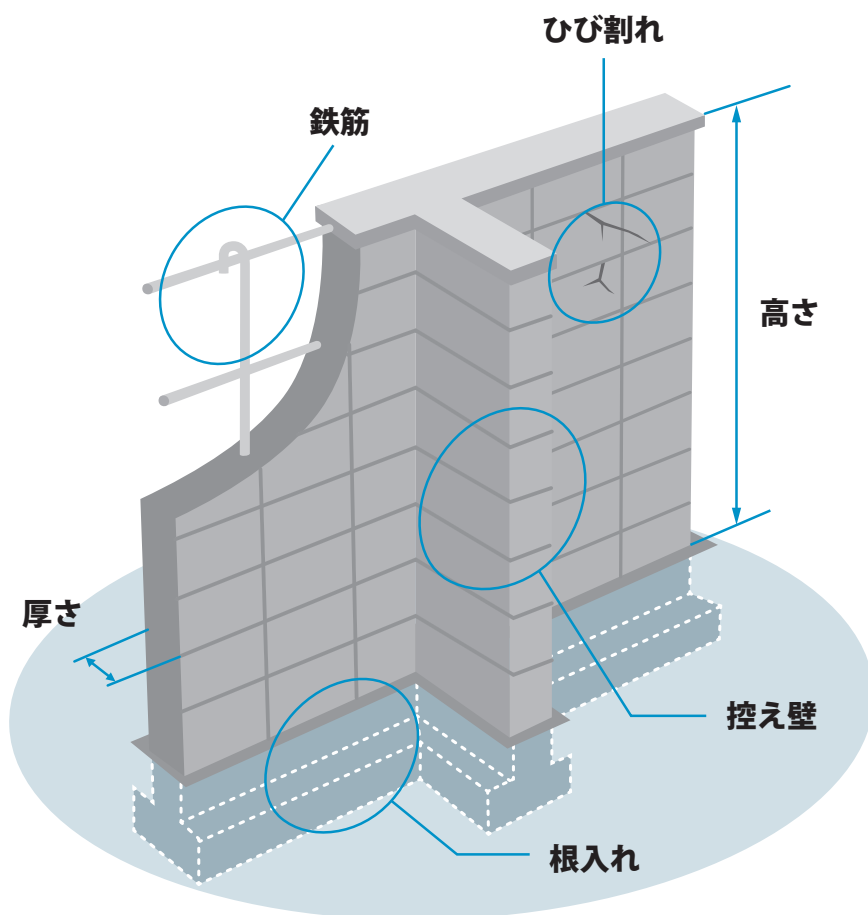
⚠️ コンクリートブロック塀の安全点検をしましょう！ ⚠️

ご自宅のブロック塀は安全ですか？

6月に発生した大阪府北部を震源とした地震をはじめ、過去の震災で、コンクリートブロック塀が道路側に倒壊し、尊い人命を奪ってしまう事故が発生しています。また、倒壊した塀によって道路が塞がれてしまい、安全に避難することが困難になったり、救助や消防活動の妨げになったりしています。

適正に施工されたコンクリートブロック塀は1㎡あたり100～130kgの重量があり、もし倒れてきた場合、人力で支えるのは困難です。ブロック塀の管理は所有者の責任です。まずは、ご自宅のブロック塀が安全であるかどうか、裏面の安全点検表を使って点検してみましょう。

【コンクリートブロック塀の解説図】



建築基準法の基準

- ①ブロック塀の高さは地盤から2.2 m 以下(厚さ15cm以上)、または2m 以下(厚さ10cm以上)。
 - ②高さが1.2m以上の塀には3.4 m 以下の間隔で突出が塀の高さの1/5以上の控え壁が必要。
 - ③基礎の根入れ深さは30cm以上。
 - ④塀の中に太さ9mm以上の鉄筋が縦横とも80cm間隔以下で配置されており、縦筋・横筋とも末端をかぎ状に曲げ互いにかぎかけしている。
- ※その他「外部の損傷、ひび割れや傾きがない」などが安全の基準です。

出典:パンフレット「地震からわが家を守ろう」日本建築防災協会2013.1より一部改

内部の構造などは外観からわかりませんが、外からでもわかる点検方法を裏面で紹介します。

自分でもできる

コンクリートブロック塀の安全点検表

	点検項目(あてはまるものに○をつけてください)	確認欄
1	建築後15年以上経つ塀ですか？	
2	塀の高さは1.5mより高いですか？(高さ20cmのブロックで8段以上)	
3	途中から新たに積み増ししている塀ですか？	
4	ブロックの厚さは10cm以下ですか？	
5	透かしブロックを連続して2個以上使っている塀ですか？	
6	控え壁がないか、あっても3.4m以上間隔が開いていますか？	
7	一番上段の笠木が壊れていたり、手で押すと動きますか？	
8	鉄筋が露出していたり、ブロックに赤さび色のしみがありますか？	
9	ブロック塀の表面にコケや草などが生えていますか？	
10	ブロックを基礎として使用している壁ですか？	
▼▼▼ 以下のブロック塀は、早めにご相談ください ▼▼▼		
1	石垣や大谷石の上に建築したブロック塀	
2	ひび割れや亀裂、破損個所が増えてきたブロック塀	
3	土圧がかかっていたり、樹木が塀や基礎部分を押ししているブロック塀	
4	見ただけで傾きやたわみのわかるブロック塀	
5	手で押すとぐらつくブロック塀	

※コンクリートブロックのぐらつきを確認するときは、周りに人がいないことを事前に確認し、万一の倒壊に十分注意して点検してください。

点検項目の1から10までに確認した○の数が多いほど安全性が低くなります。

○の数が3つ以上でしたら専門知識のある建築士等に相談・改善されることをお勧めします。

問 建築住宅課 ☎内線2563